

令和3年度 水稲低コスト・省力化生産技術研修会 開催要領

1 趣旨

米をめぐる環境が大きく変わる中、本道が米主産地としての地位を揺るぎないものとしていくため、多様なニーズに対応した安定生産・安定供給を図るとともに、水田機能の維持と生産力の確保を図る必要がある。

このため、水稲栽培における低コストで省力的な生産技術の導入を総合的に推進することを目的に、生産者、普及センター、農業関係機関を対象とした研修会を開催し、道内の低コスト・省力化技術に係る取組事例及び研究成果の紹介を行う。

2 主催

北海道農政部

3 日時

令和4年2月28日（月）13:30～16:00

4 場所

オンライン配信（Zoom）（第二水産ビル5階 5F会議室より配信）

5 内容

①水田機能の維持と所得増加に向けた経営指標の策定手順について
（中央農業試験場 農業システム部 農業システムG 山田主査）

②高密度播種短期育苗技術について
（中央農業試験場 水田農業部 水田農業G 小杉研究職員）

③新十津川町スマート農業の取り組みについて
（新十津川町 産業振興課 政所副主幹、白石農園 白石 学 氏）

④低コスト・省力化実証実験及びファーモの水管理システムについて
（ホクレン農業協同組合連合会、一般社団法人北海道農産協会、株式会社farmo）

⑤えみまるの栽培技術資料について
（上川農業試験場 研究部 生産技術G 中村専門研究員）

※各回とも講演時間は25分間+質疑5分間の計30分間
質疑はZoomURL送付の際に事前募集する。

6 参集範囲・参加人数

- ・生産者、市町村、農業関係機関・団体、農政事務所、資機材メーカー、農業試験場、農業改良普及センター、道振興局等
 - ・オンライン300名
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインのみ。

7 参加申込・お問合せ

別紙様式により令和4年2月4日（金）までにお申し込みください。
北海道農政部生産振興局農産振興課こめ係（電話：011-204-5435）

8 留意事項

- （1）申込者多数の場合は、先着順とさせていただきます。
- （2）参加方法と当日資料は、後日申込者に対して事務局からご連絡いたします。
- （3）回線数負荷の軽減のため、共同視聴にご協力をお願いいたします。